R82

cougar™

取扱説明書

輸入代理店

テクノグリーン株式会社

〒 530-0015 大阪府大阪市北区中崎西 1 丁目 4 番２２号　梅田東ビル

TEL (06)6371-0104　FAX (06)6371-6400

© 2005 R82 A/S. All rights reserved.
The R82 logo and the Cougar chairs are registered trademarks of R82 A/S.

01.2007

JP

JP

目次

＊ 安全性・・・

JP この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品は快適な座位保持機能を必要とするお子様や成人の方向けにつくられた車椅子です。多様な調節機能やアクセサリーにより、ご利用頂く方々にとって最高のパートナーとして、皆様のご期待に添えるものと確信しております。
ご使用前に、本取扱説明書を良くお読み頂き、安全かつ本製品の持つ特徴を良く理解してください。また、お読みになった後は必ず大切に保管し、本製品を末永くご使用頂きますようご活用ください。

JP ＜安全性＞
本製品は、ＣＥマーク商品です。これは、ヨーロッパの安全規格を満たしていることを証明しております。
また、本製品はＩＳＯ７１７６／１９、ＥＮ１２８１２、ＥＮ１２１８３又、このマニュアルもＩＳＯ７１７６／１５の認証を受けております。
当製品は、日常のご使用状態において５年の耐久性があります。以降ご使用の際は、一度お買い上げ頂いた販売店でメンテナンスをお受け頂くことをお勧めします。

⚠ 本製品を改造、或いはＲ８２社製純正部品以外の部品を使用された場合は、このＣＥマークを取外してください。
⚠ 本製品のご使用の際は、不適切な使用をされた場合、事故などの危険を伴う恐れがございますので、大人の方の監督下で行ってください。常に調整やフィッティング、安全性をチェックしてください。
⚠ 最新のマニュアルはＲ８２社ホームページでもご覧頂けます。www.r82.com

JP ＜保証規定＞
本製品は、使用している材料又は製造工程上の欠陥に対して、お買い求め頂いた日から向こう１年間、フレームの破損においては、５年間の品質保証がなされております。この品質保証は、本製品の構成部品の修理又は交換に限定されたもので、その欠陥に付随して起こる又は結果として起こる損害を担保とするものではありません。そして、これは最初の原購入者に限定されます。万一、この保証に基づいて構成部品に欠陥が発見された時は、弊社の選択によりその部品を修理するか交換するかを決定し、無償にてこれを行ないます。
この保証はＲ８２社製の純正部品が使用されている場合のみ有効で、また認定を受けていない業者による修理等で起きた損害や怪我は保証の対象外です。

JP

＜付属工具＞
本製品には３，４，５，６mm のレンチが入った工具セットが含まれております。この取扱説明書に記載されている調整を行なう際は、これらの工具をお使いください。

＜クリーニング＞
カバーは取外し可能で、４０℃のお湯で洗濯することができます。また、品質を維持するために汚れ等をふき取るなどフレームをきれいにしてください。

＜メンテナンス＞
定期的にタイヤの空気圧を確認してください。
空気圧：3.9kgf/㎠　または　５５ＰＳＩ　または　３．８ｂａｒ　または　３８０ｋＰａ
ブレーキが正しくロックできるかチェックしてください。安全の為定期的に、車輪とブレーキの間隔が８－１０mmである事を確認してください。
ガスダンパーには圧力をかけたり、高温にさらしたり、穴をあけたりしないでください。

⚠ 時々、開閉部分・背もたれ角度調節ピン等には潤滑油をさしてください。テフロン化合物の油をお勧めします。

⚠ 雨や海水に濡れた際はフレームを拭いてください。クロラールやメチレートを含んだ洗剤はご利用にならないでください。

⚠ 本製品は、少なくとも６ヶ月毎お買い上げ頂いた販売店でチェックを受けてください。

⚠ ドラムブレーキを使用している場合、ブレーキが正しく機能するようにワイヤーはしっかり張ってください。ブレーキをかけた時に、車輪がまわらないようにして下さい。少なくとも６ヶ月毎に資格のある技術者のブレーキチェックを受けてください。

⚠ スポークは定期的に自転車修理業者等の専門家にご相談ください。

⚠ 本取扱説明書に記載のない調整については、弊社認定の業者にご相談ください。

JP

＜ご使用前の準備について＞

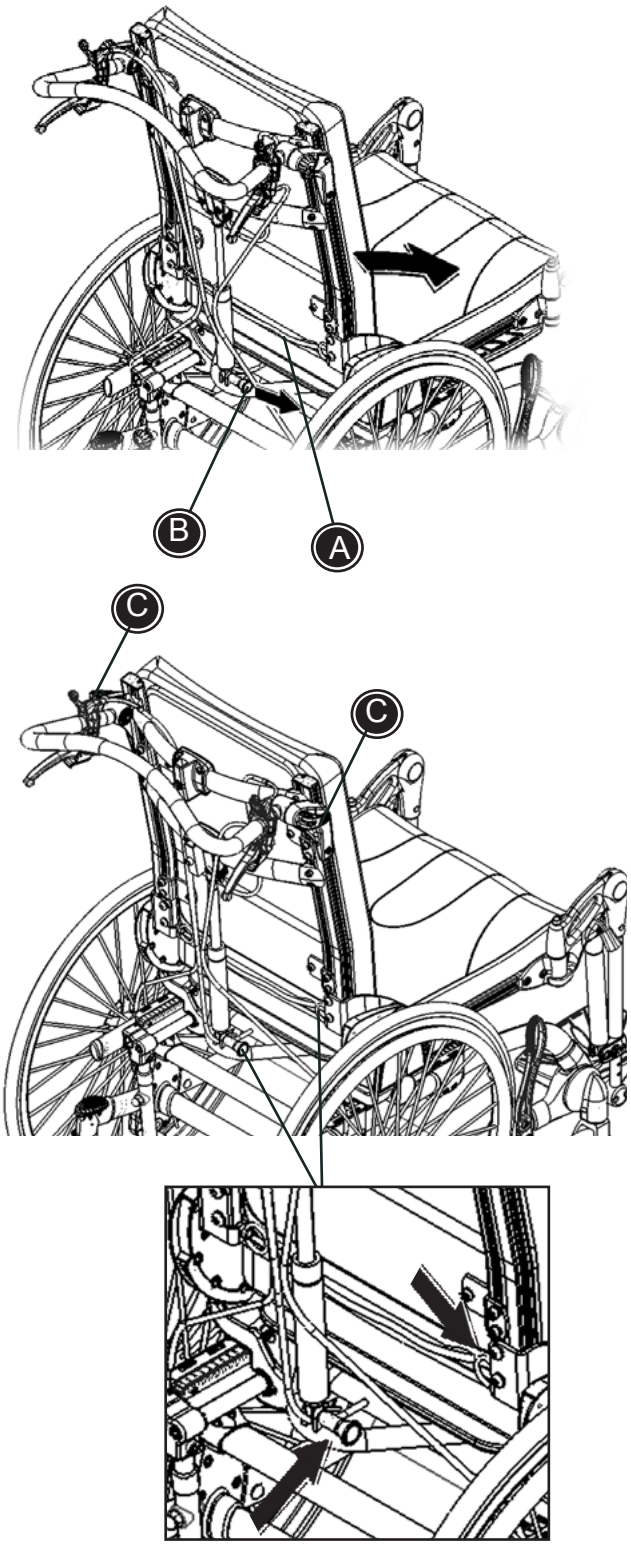
持ち運びの際、コンパクトに収納する事が可能です。

お使いになるには、以下の案内に従ってください。

1）シートを正しくセッティングする為に後ろへ引いてください。
2）（図A）のストラップを後ろへ引いて、背もたれを垂直にセッティングしてください。
3）（図B）のピンを引きガスダンパーを所定の位置に合わせて、ピンを戻してください。この時所定の位置にセットし“カチッ”と音が鳴るか確認してください。
4）プッシュハンドルを回して、ご希望位置で固定してください。（図C）

以上で、お使い頂ける状態になります。

⚠ 座面（ティルト）リクライニングを後ろに倒す際に、ストラップの両端のロック機構を確認の上、ガスダンパーのピン（図B）を所定の位置にセットし、“カチッ”と音がなるか確認してください。



JP

＜車椅子の乗り降りについて＞

Cougar のシートにお座りになる前に、必ずブレーキを規定の位置でロックしてください。
又、フットプレートを跳ね上げる、もしくはレッグレストを外しておいてください。

ご利用者をシートに乗せ、快適にご使用頂けるようアクセサリー類を調節してください。

ご利用者がリフト（スリングシート）で Cougar に乗り降りされる場合は、レッグレストを外す必要はありません。

JP

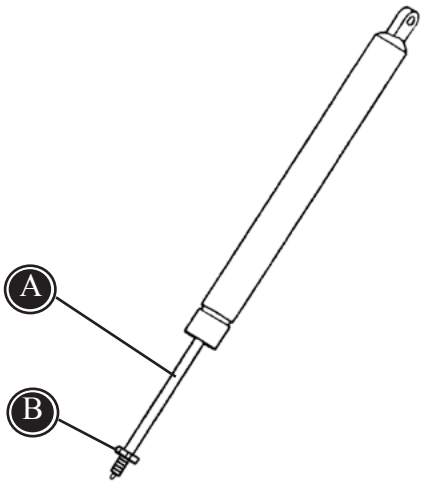
＜ガスダンパーの調整＞

ガスダンパーの調整が必要な際は、下記の手順に従って行なってください。

（調整は下記の時にのみ必要です。）

＊　ガスダンパーが自然に下がってくる。（ティルト角度が自然に下がってくる）

＊　ガスダンパーが全く動かない。（ティルト角度の調節ができない）



ガスダンパーが自然に下がってくる（ティルト角度が自然に下がってくる）場合：

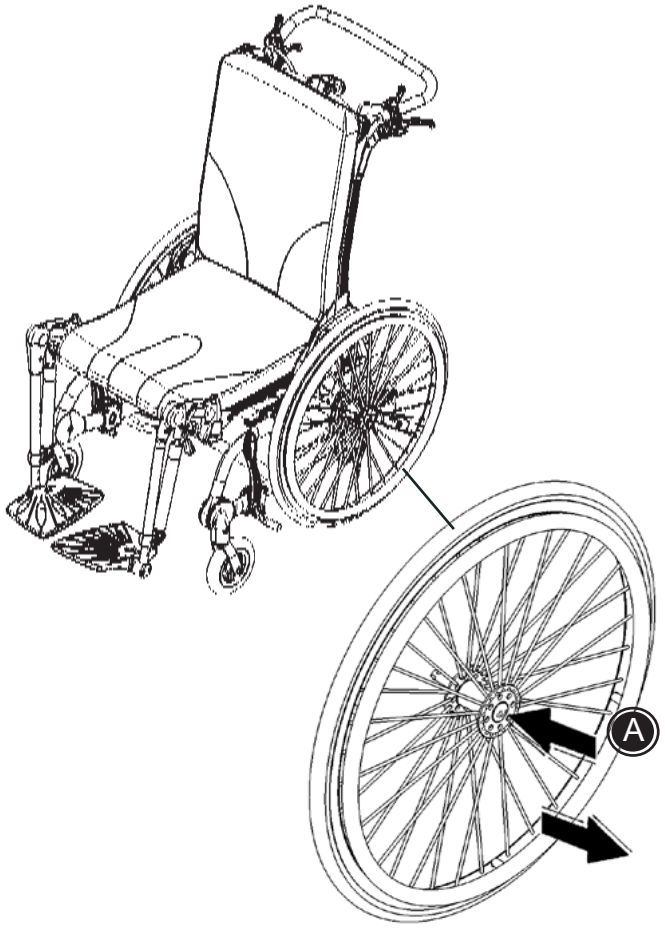
１７mm のスパナでナット（図Ｂ）を緩め、バイスプライヤー等でピストン棒（図Ａ）を座面側から見て反時計回りに回してください。再び、ナット（図Ｂ）を締めてください。

ガスダンパーが全く動かない（ティルト角度の調節ができない）場合：

１７mm のスパナでナット（図Ｂ）を緩め、バイスプライヤー等でピストン棒（図Ａ）を座面側から見て時計回りに回してください。再び、ナット（図Ｂ）を締めてください。

⚠ ガスダンパーには圧をかけたり、高温にさらしたり、穴をあけたりしないでください。

⚠ ピストン棒を傷つけないでください。ガスダンパーを工具で調整する際は、布などをお使いください。



JP

＜クイックリリース機構＞

Cougar 後輪車輪はクイックリリース機構（標準装備）によりワン・タッチで車輪が素早く脱着します。車輪中央の脱着ボタン（図Ａ）を押しながら車輪の取外しを行ってください。

⚠ 車輪を戻す際は、リリースピンの頭を押しながらロックを外し、確実に戻してください。

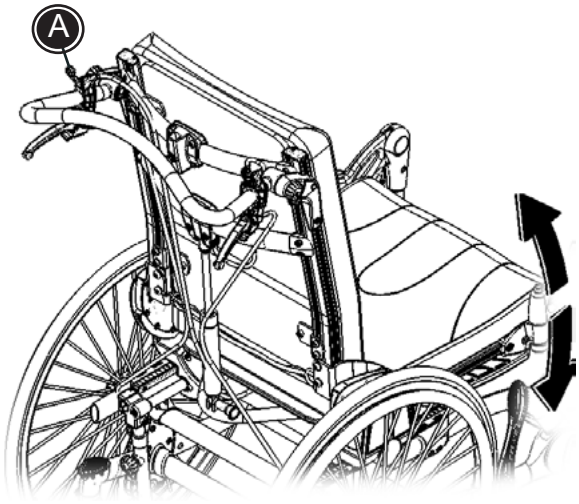
⚠ ロックピンが正しい位置に戻り、車輪が固定されているか（外れないか）確認してください。

＜スポークカバー取付方法＞

1）スポークにスポークカバーをあわせてください。

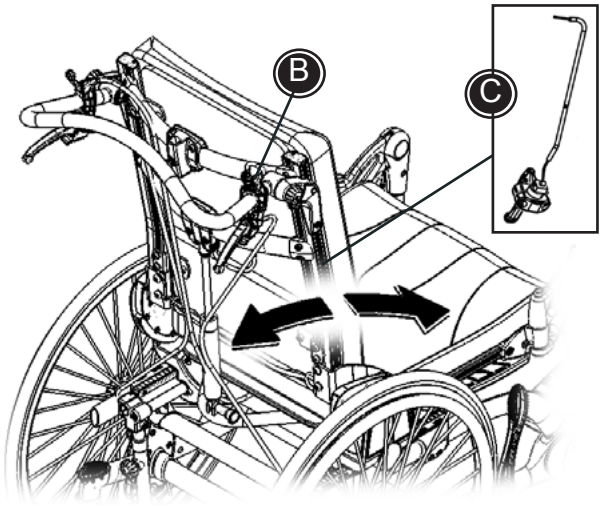
2）スポークカバーの穴に付属のクリップを通し留めてください。

JP ＜座面（ティルト）
＆背もたれリクライニング機構＞



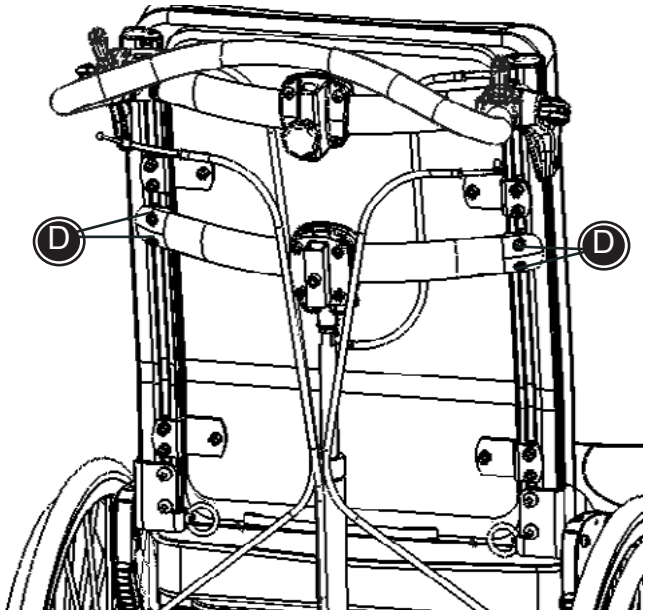
座面（ティルト）リクライニング機構：
プッシュハンドルについている左のハンドル（図Ａ）を握ると座面の角度調節が行えます。（座面と背もたれの角度が一定のままリクライニング）

Cougar はガスダンパーの有無にかかわらず、背もたれのリクライニングが可能です。
下記の手順に従って、背もたれ角度を調節してください。

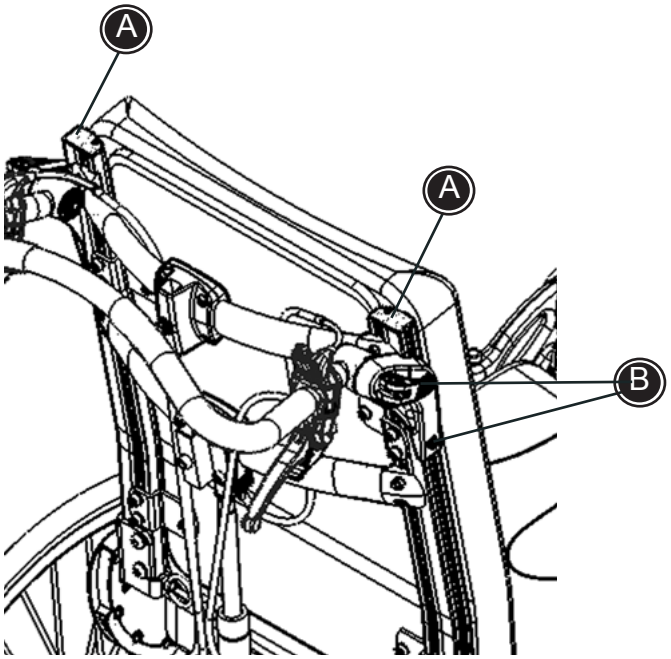


背もたれリクライニング機構（ガスダンパー付）：
プッシュハンドルについている右のハンドル（図Ｂ）を握ると背もたれの角度調節が行えます。
背もたれリクライニング機構（手動）：
背もたれサイドレールにハンドル（図Ｃ）を取付けてください。

その場合リクライニング角度調節は、車椅子に乗ったままでも簡単に行えます。



背もたれリクライニング機構（固定バー付）：
（図Ｄ）のネジを５ｍｍの六角レンチで緩め、クロスバーの高さを調節頂くと、自動的に背もたれの角度が変わります。ご希望の位置でネジを締めてください。



JP

＜プッシュハンドルの調節＞

介助者される方の身長に合わせ、プッシュハンドルの角度を変えることができます。

1）レバー（図A）を解除してください。

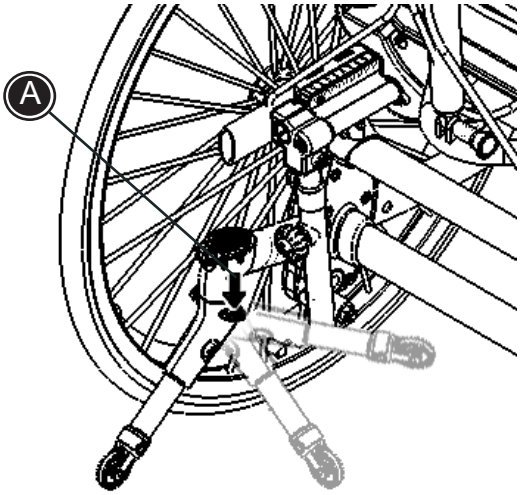
2）プッシュハンドルの角度を調節してください。

3）“カチッ”と音がするまで、レバーを元の位置に戻してください。

⚠ 特に階段において、プッシュハンドルで車椅子を引いたり持ち上げたりしないでください。

JP ＜転倒防止バー＞

転倒防止バーは標準装備されています。椅子の後方、シートの下にあります。



足でバーを下げ（図Ａ）、１８０°回転させセッティングしてください。

⚠ シートをリクライニングさせた時は必ず転倒防止バーをセッティングしてください。

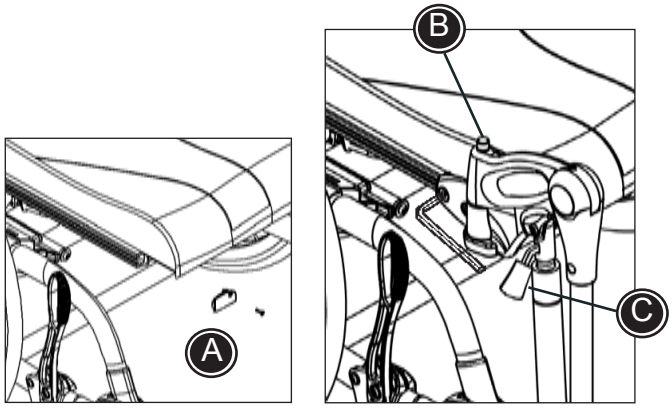
⚠ 定期的に、転倒防止バーが適切に作動する状態にあるか、チェックする事をお薦めします。

JP

＜レッグレスト＆フットプレート＞

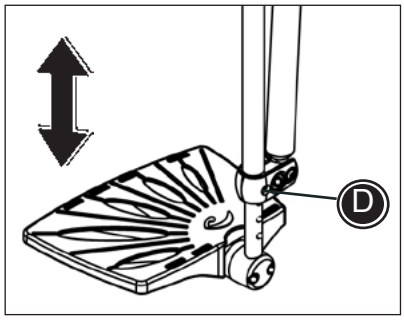
1）レッグレストの取付：

サイドレール用の端のキャップ（図A）をドライバーで外します。レッグレスト用の取付部品を付属の５ｍｍの六角レンチで留め、キャップ（図A）を取付けます。レッグレストの位置を調整します。レッグレストの取付け／取外しに、リリースボタン（図B）を押します。“カチッ”となる位置まで押してください。



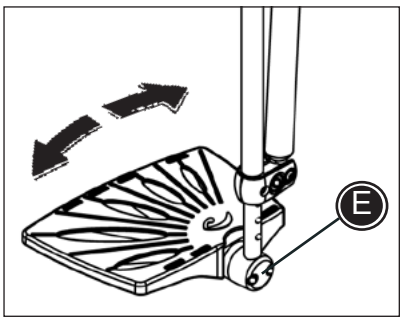
2）“開閉”機構：

リリースボタン（図B）を押しながら、レッグレストを少し引っ張り上げると横へ開くことが出来ます。ご使用の際、レッグレストを戻す場合はリリースボタン（図B）が“カチッ”と音が鳴る位置になった事を確認してください。



3）レッグレストの角度調節：

レバー（図C）を下へ押し、レッグレストをご希望の角度に調節してください。

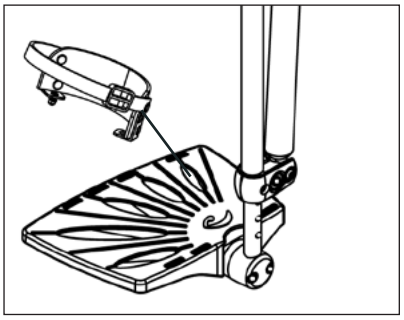


4）フットプレートの高さ調節：

付属の５ｍｍ六角レンチを使い、ネジ（図D）を取外してください。フットプレートの高さを調節し、固定してください。

5）フットプレートの角度調節：

付属の５ｍｍ六角レンチを使い、ネジ（図E）を緩めてください。フットプレートをご希望の角度に調節し、固定してください。



6）ヒールストップの取付：

ヒールストップをフットプレートに置き、取付穴に付属のネジで固定してください。

JP

＜シート高さ調節＞

Cougar のシート高さ調節は以下の方法で行ってください。

1）ノブネジ（図A）を緩め、フレームからボルトを抜いてください。

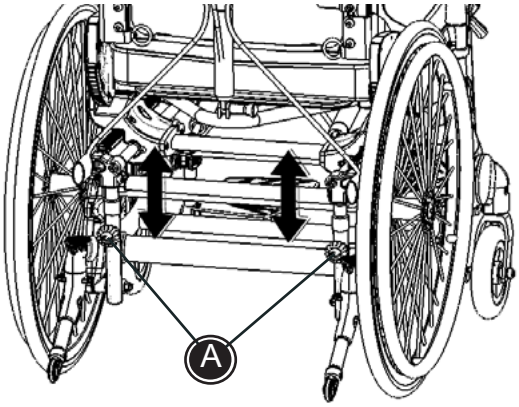
2）ご希望の位置に高さを調節してください。

3）ボルトを締めてください。ノブネジ（図A）をしっかりと締めてください。

⚠ シートの高さは左右対称にしてください。

⚠ シート高さ調節の際は、座面角度にもご注意ください。

⚠ シート高さ調節の間は、椅子に乗らないでください。



JP

＜スライドバー調節機構の調節＞

プッシュハンドルについている右のレバー（図A）を握り、背もたれ裏のガスダンパーをリリースしてください。

スライドバー機構の調節は以下の通りです。

1）ガスダンパーの下のピン（図B）を外してください。

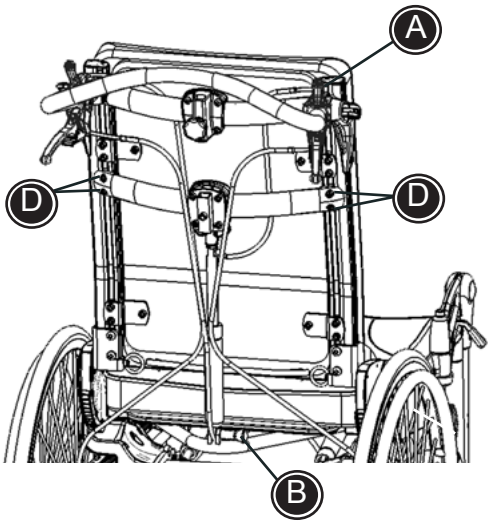
2）座面裏ネジ（図C）を緩め、ご希望の位置に調節後、ネジを締めてください。

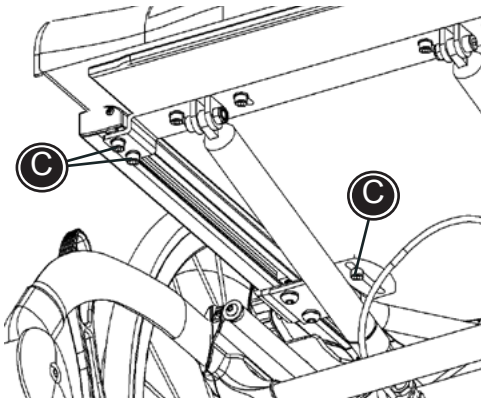
3）ネジ（図D）を緩めてください。スライドバーをガスダンパーの下の部分が戻せる高さに調節し、ネジ（図D）をしっかり締めてください。

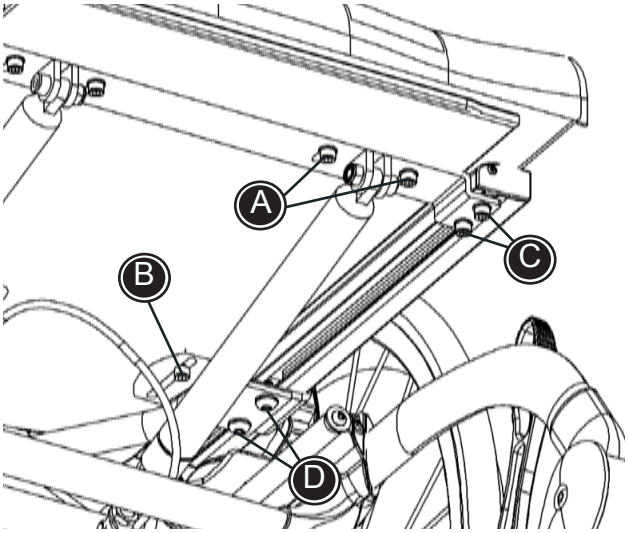
⚠ 座面裏の取付は、フレームの左右同じ位置で取付けてください。

⚠ スライドバーは、左右同じ高さでセッティングしてください。

⚠ 座面角度の調節の間は、椅子に乗らないでください。







JP

＜座面奥行き調節＞
座面奥行きは１０ｃｍ調節可能です。
正しい方法は次の通りです。

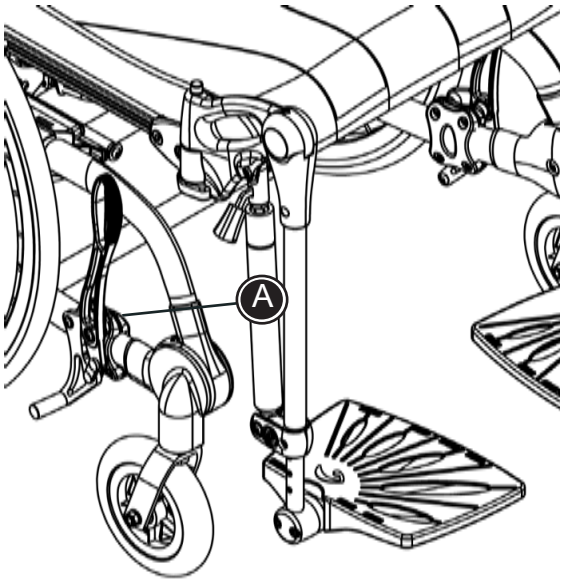
１）椅子を後ろに倒すと、椅子の下の木製座面プレートが調節できます。レッグレストを外すと、座面プレート（木製）が調節しやすくなります。
２）付属の５ｍｍの六角レンチを使ってネジ（図Ａ）（図Ｂ）を外してください。
３）プレートをご希望の位置へ動かしてください。（５ｃｍ間隔で穴が開いています）。
４）ネジ（図Ａ）（図Ｂ）をしっかり締めてください。
５）左右サイドレールにあるネジ（図Ｃ）（図Ｄ）を緩めレールを前後に動かしてください。
６）ご希望の位置でネジ（図Ｃ）（図Ｄ）を締めてください。

⚠ 上記調節を行っている間は、シート角度調節用のハンドルを動かさないでください。

⚠ 背もたれにあるスライドバーは椅子の両サイドの同じ位置になるようにしてください。

JP ＜ブレーキレバー＞

ブレーキレバーはフレームの下方にあり、ご利用者、介助者とも操作することが可能です。



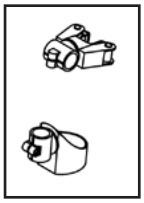
＊　ハンドルを前方に押すとロックがかかります。
＊　ハンドルを後方に引くとロックが解除されます。

ブレーキレバーは前後に動かすことも出来ますが、車輪サイズやブレーキにより効き具合を調節してください。

調節は、付属の４ｍｍの六角レンチでネジ（図Ａ）を緩め、ご希望の位置でネジをしっかりと締めてください。

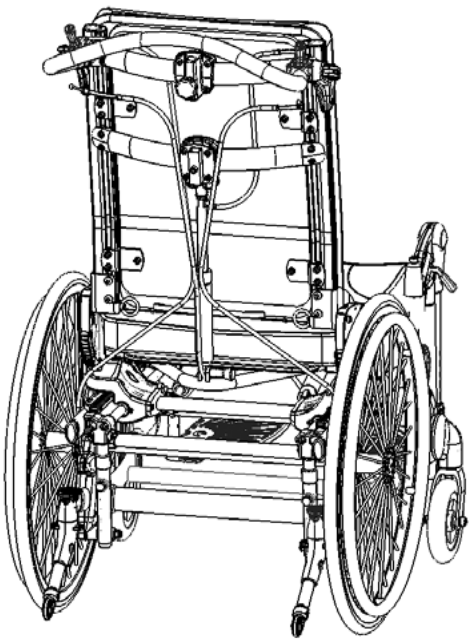
⚠ ブレーキレバーの性能を維持する為に、後輪車輪の空気圧は適正に保たれることをお薦め致します。
空気圧：３.９kgf/㎠　または　５５ＰＳＩ
または ３.８ｂａｒ または ３８０ｋＰａ

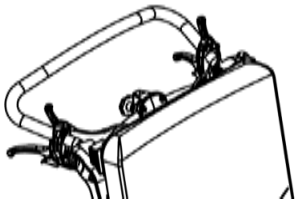
⚠ 安全にお使い頂く為に、車輪とブレーキレバーの間は８～１０ｍｍあけてください。



JP ＜杖ホルダー＞

フレームの一番上と下にそれぞれ取付けてください。

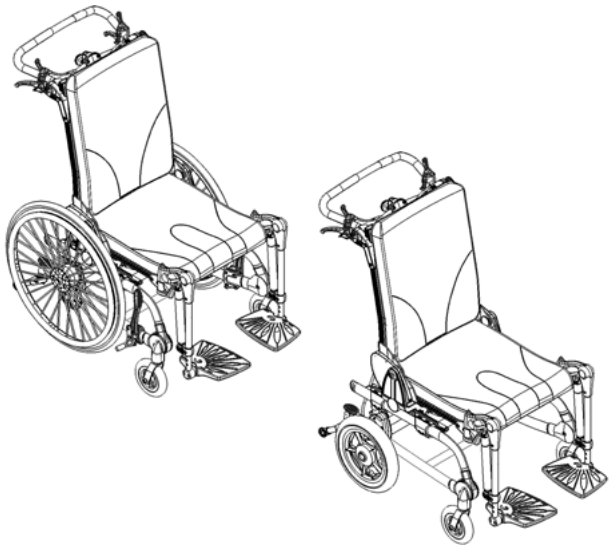




JP ＜ドラムブレーキ＞

＊レバーを握るとブレーキがかかります。

＊赤いレバーを引くと、ブレーキが解除されます。



JP ＜前・後輪車輪の組合せ＞

推奨する前･後輪車輪の組合せは以下の通りです.

シート高さの変更を望まれる際は、本取扱説明書の中に記載されております＜シート高さの調節＞項をご参照ください。

車輪の組合せ：

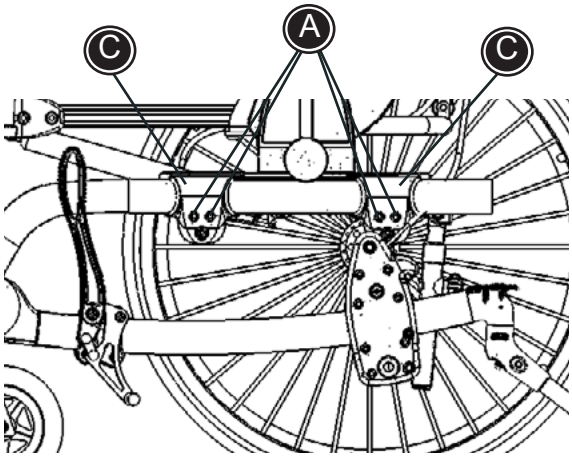
	１２　1/2”	２０”	２２”	２４”
6”	○	○	○	○
8”	○		○	○

⚠ 車輪のサイズを変更する際に、フロントフォークの角度が重要です。車輪の回転性を適切に保つ為に、左右両方のフロントフォークを同じ角度に保ち、地面に対垂直にセッティングしてください。

JP

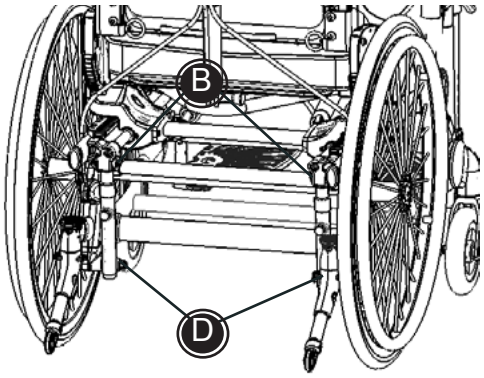
＜重心位置の変更＞

Cougar は座面と車輪の位置を変えることで重心移動（ウェイトシフト）が出来ます。



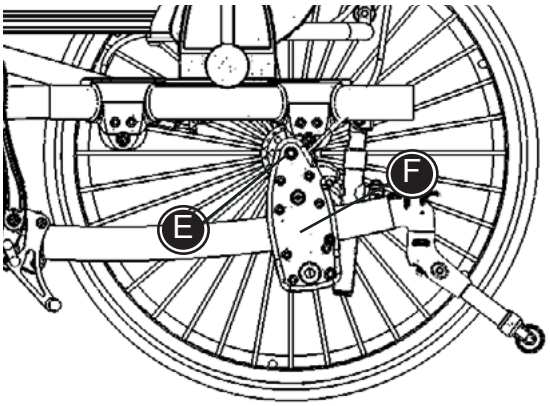
座面位置：

1）後輪車輪を外してください。
2）フレーム両サイドの４つのネジ（図Ａ）を緩めてください。
3）高さ調節部（図Ｂ）を外してください。
4）ユニットを動かしてください（(図Ａ)，(図Ｂ)又は(図Ｃ)の位置へ)。両側のフレームを少し引き、座面を前方又は後方に動かしてください。取付部（図Ｃ）が所定の位置（“ガチッ”と鳴る）にセッティングされているか確認してください。



車輪位置：

1）高さ調節部（図Ｄ）を外してください。
2）フレーム両サイドのサスペンション（図Ｅ）を外してください。
3）プラスチック部（図Ｆ）から７つのネジを外してください。外側のカバープレートが外せるようになりますので、フレームの内側の穴から小さいプラスチックの栓を抜いてください。
4）クロスバー上のサスペンションがご希望の位置に動かせるようになっております（(図Ａ)，(図Ｂ)又は(図Ｃ)の位置へ)。両サイドのフレームを引いて、サスペンションを前後へ動かしてください。ご希望の位置にサスペンションを合せ、“カチッ”と音が鳴りしっかり固定されているか確認してください。
5）カバープレートのネジを再び締めてください。プラスチックの栓を座面の穴に取付け、座面を元に戻してください。最後にサスペンションと後輪をセッティングしてください。

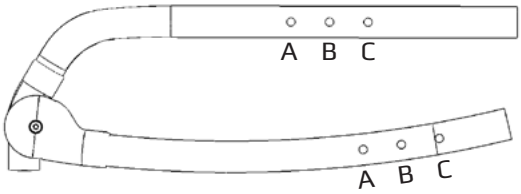


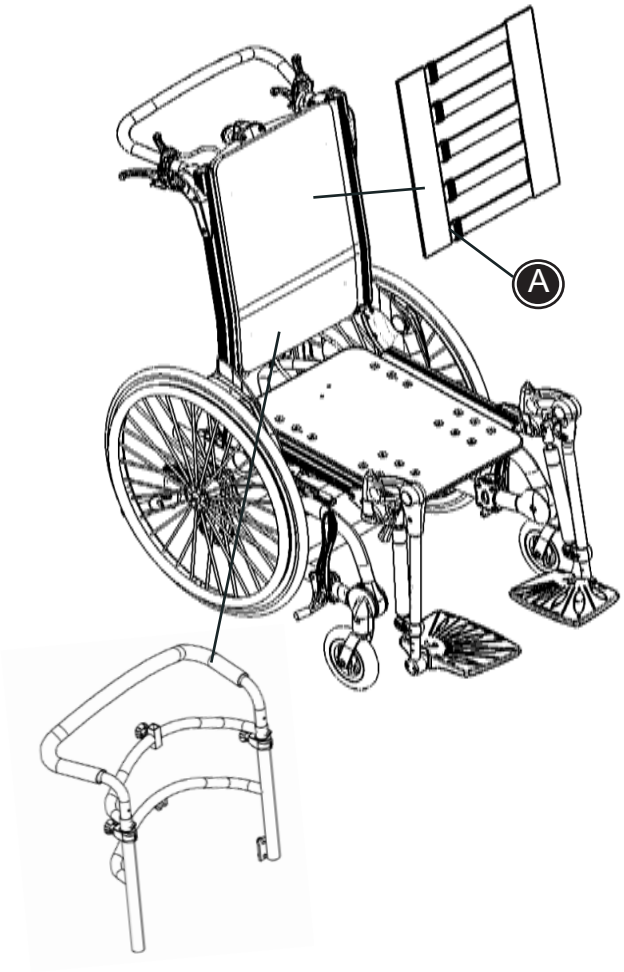
車輪変更の際、ブレーキレバーは前後に調節する必要があります。

⚠ 座面位置調節はお買い上げ頂いた販売店にご相談ください。

⚠ 全てのネジがしっかりと締まっている事が重要です。特に重心の位置調節を行なった後は必ず点検してください。

⚠ 重心位置調節の為に椅子を前に出した場合は、必ず転倒防止バーをセッティングしてください。





JP

＜各種背もたれ＞

Cougar の背もたれは木製合板タイプ、スリングタイプ又は特注品対応タイプ、いづれかからお選び頂けます。

木製合板タイプ：

木製合板が取付けられています。

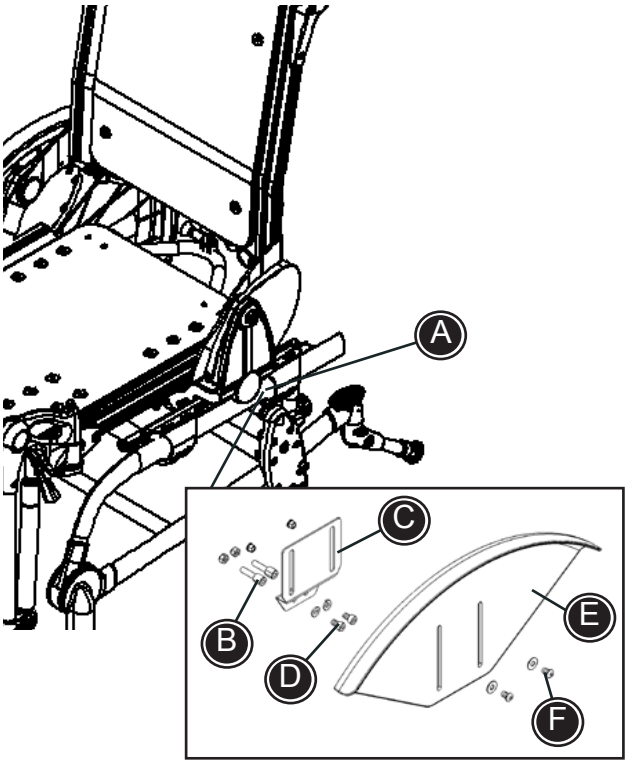
スリングタイプ：

スリングが取付けられています。スリングの張り調節により、ランバーサポートの量を調節することが可能です。スリングはマジックテープ（図Ａ）にて調節してください。

JP

特注品対応タイプ：

特注品の背もたれを取付けることが可能です。“特注”背もたれとその付属品は後ろのチューブの周りに取付けることが出来ます。特注品の指示に従って取付けてください。



＜泥よけ＞

1）フレームの後部（図Ａ）に取付部品を取付けてください。２つのネジを外して、付属部品（図Ｂ）を取付けます。

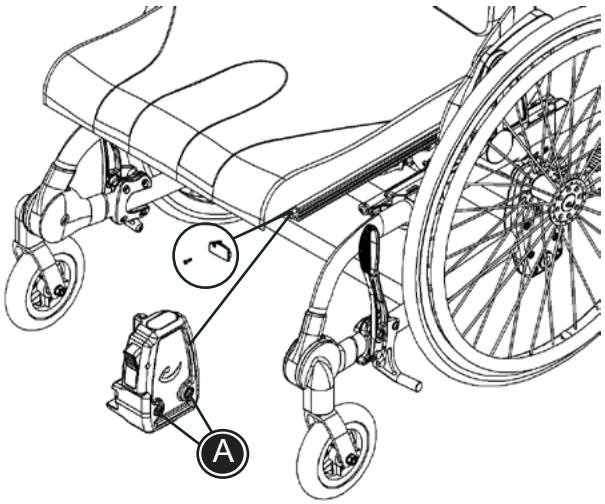
2）付属のスプリングワッシャーとボルト（図Ｄ）を使って取付部品（図Ｃ）を取付けてください。５ｍｍの六角レンチをご使用ください。

3）最後に泥よけ（図Ｅ）を取付部品にボルト、ワッシャー、ナット（図Ｆ）で取付けてください。

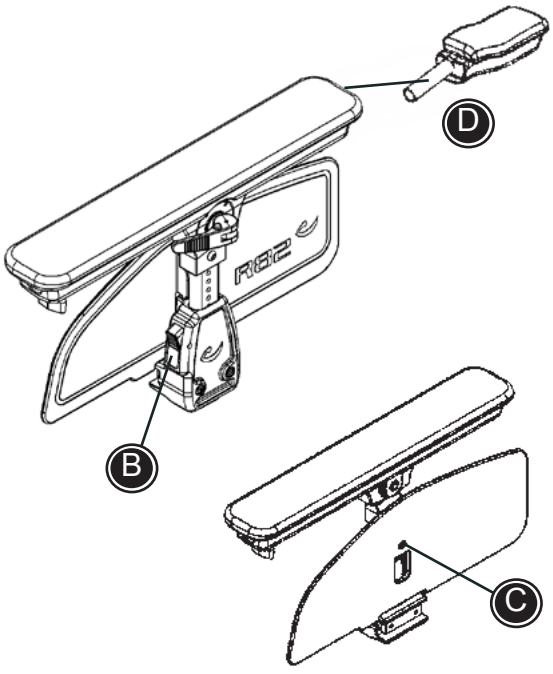
⚠ 他の調節部品の上に泥よけを取付ける事は、調節機構の劣化防止に最適です。

JP

＜サイドプレート付アームレスト＆アームレスト延長部＞
ネジを緩め、サイドレール端のキャップを外してください。
アームレスト取付部品を座面レール（図A）に取付け、付属の 5mm の六角レンチで締めてください。



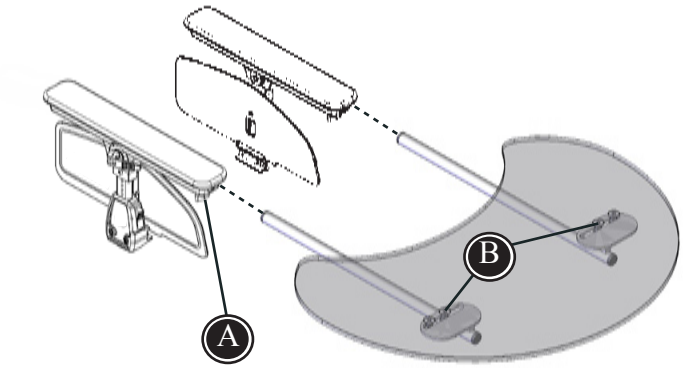
アームレストは調節部品によって、前後必要な場所に動かすことができます。
取付部品は前後調節が可能ですので、アームレストをご希望の位置にセッティングしてください。
調節部品にアームレストを差し込んでください。ボタン（図B）を押して、アームレストの高さ調節を行なってください。ボタンを離すとその高さで固定されます。



サイドプレート
サイドプレートは高さ調節することができます。付属の 5mm の六角レンチを使って、ネジ（図C）を外してください。ご希望の高さで、ネジを再び締めてください。

アームレストなしでもご使用頂けます。
サイドプレートを取外し、アームレスト取付部品の小さな穴に、取付けてください。
ただし、サイドプレートはこの位置では高さ調節が行えません。

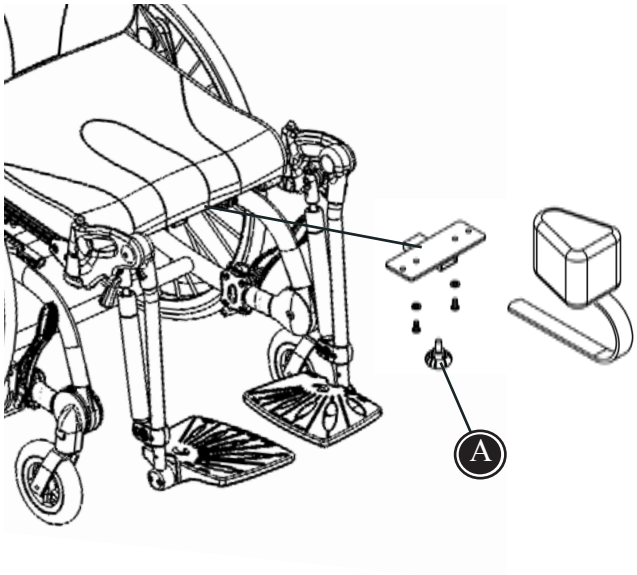
アームレスト延長部
アームレストは、延長することができます。アームレスト（図D）の端にアームレスト延長部を取付け、ネジで締めてください。



JP

＜テーブル＞
差込み部品に取付け、ネジで固定してください。

付属の５ｍｍ六角レンチでテーブルの幅（図Ｂ）調節を行ってください。



JP

＜内転パット＞
座面クッションの下に取付金具を取付けてください。付属の４ｍｍの六角レンチをご使用ください。

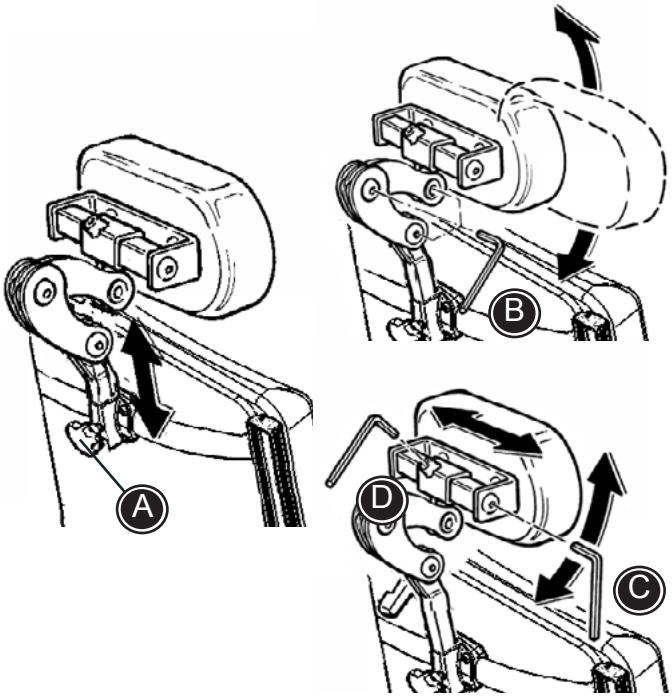
内転パットを取付金具に差込み、固定ネジ（図Ａ）でしっかりと締めてください。

JP

＜ヘッドサポート＞
背もたれ裏の取付部品にヘッドサポートを差込み固定ネジ（図Ａ）でしっかり締めてください。

全てのネジを１度に緩めておくことをお薦め致します。調節用ネジ（図Ｂ）を緩めると、ヘッドサポートの各種調節が行えます。調節後、全てのネジを締めてください。

ヘッドサポートの角度調節は（図Ｃ）、左右調節は（図Ｄ）のように行ってください。

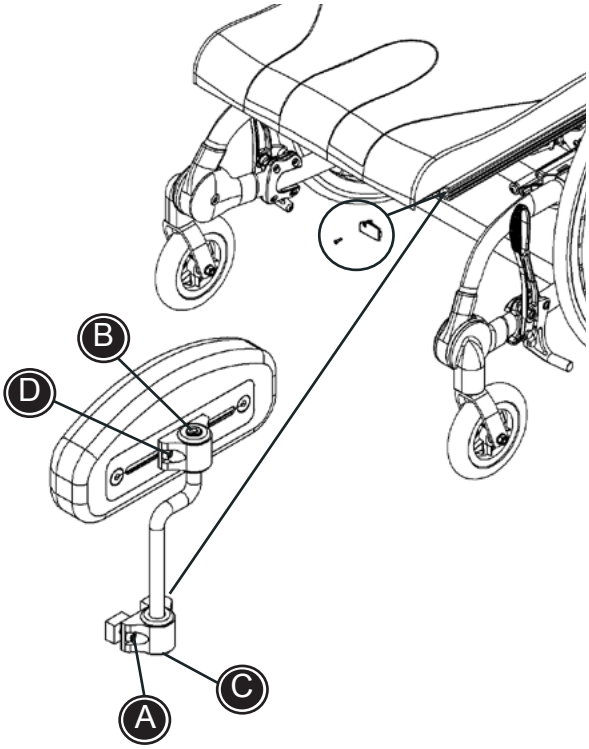


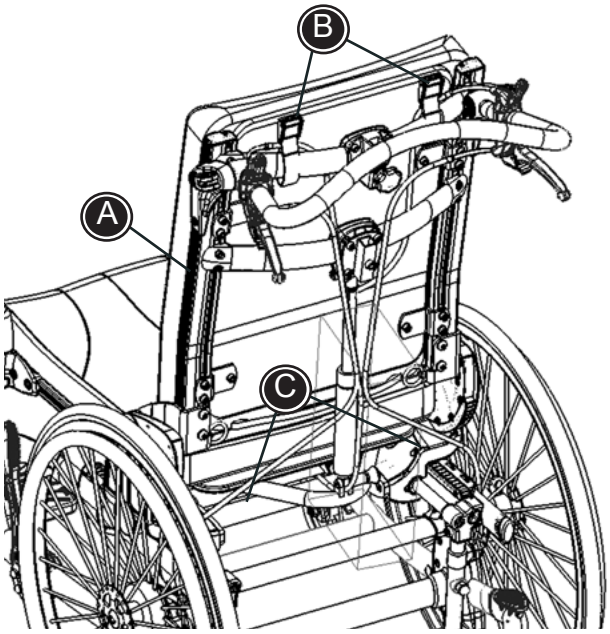
JP

＜ヒップサポート＞
ネジを緩め、サイドレール端のキャップを外してください。ヒップサポートを取付け、付属の３ｍｍの六角レンチ（図Ａ）で締めてください。

ヒップサポートは多様な調節が行えます。ネジ（図Ｂ）と（図Ｃ）を緩めてください。ご希望の位置に調節し、付属の５ｍｍの六角レンチで締めてください。

ヒップサポートは奥行き調節も可能です。付属の３ｍｍの六角レンチで取付部品のネジ（図Ｄ）を緩めて調節を行ってください。



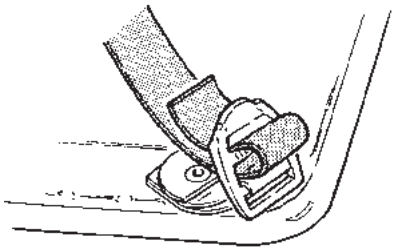


JP

＜フィックスロック＞
（ベルト固定部品）
座面と背もたれ（図A）のどちらのレールにも取付けることができます。
Vトラック付のフィックスロックは、レールにとりつけます。Vトラックを水平方向に向けてください。付属の 3mm の六角レンチで取付けている間、フィックス-ロックを外側に引いてください。

ストラップ付（２つ）のフィックス-ロックは、背もたれ（図B）のバー（最上部）に取付けることができます。金属バックルを内側にしてバーのまわりにストラップを取付けてください。金属バックルでストラップを留めて、安全に締めてください。

フィックス-ロックは、座面（図C）の裏に取付けることもできます。木製合板の上側の穴にフィックス-ロック付取付部品を取付けてください。部品を固定するために、付属のネジをご使用ください。



JP

＜ベスト＆ベルト＞
Cougar には標準でヒップベルト用の取付け部品がついています。

更にベスト式ベルトや他のベルトを取付ける事も可能です。

JP ＜お車での移動（その１）＞

Cougar はご利用者が車椅子に乗った状態のままお車で移動することが認可されております。その際は前方に向いた状態でセットしてください。
下記の点をお読み頂き、安全にご使用ください。

⚠ 特注の椅子の場合は、適用されませんのでお控えください。

⚠ お車でのご使用では、ご利用者の体重は７５kg まで適応されます。

⚠ できる限りお車のシートに乗せた状態で移動されることをお薦めします。その際はシートベルトでしっかり固定してください。

⚠ Cougar は ISO７１７６－１９に関する力学的試験を受けています。

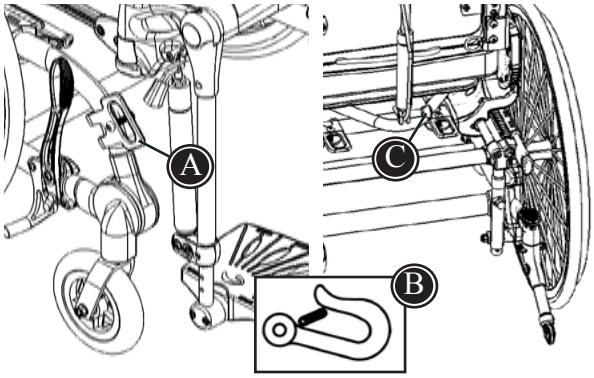
⚠ Cougar にご利用者を乗せたまま車で移動する際は、前方に向けた状態でセットしてください。その際、４点式ストラップタイプ固定システムをご使用ください。

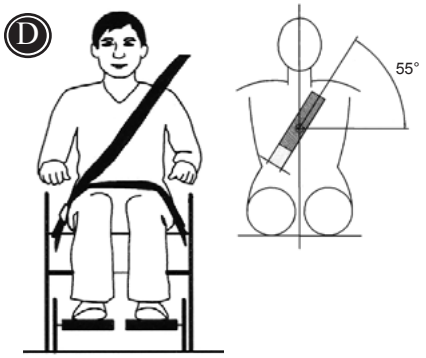
⚠ ３点式ベルトをご使用ください。その際、ベルトの機能を妨げない為に、アームレストや車輪等のアクセサリーに緩衝しないようにしてください。

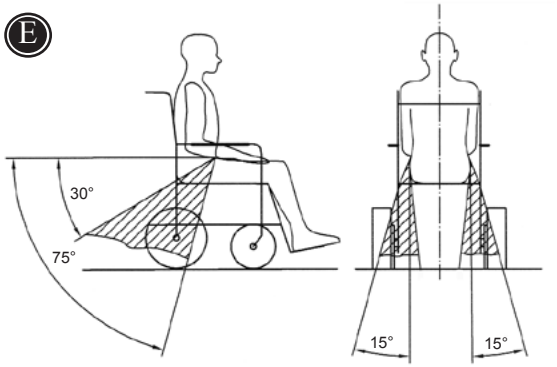
⚠ 全てのアクセサリーを車椅子から外して別々に車に乗せてください。取外せないアクセサリーがある場合は、衝撃を吸収できるパット等をご利用者とアクセサリーの間に置き、安全に注意してください。

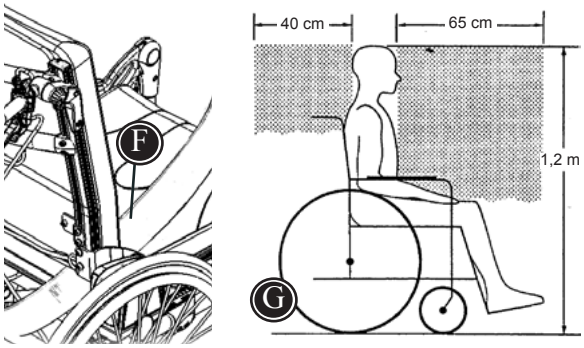
⚠ 販売店の同意なく修理、改造しないようにしてください。

⚠ 自動車の衝撃を受けた後、再び車椅子を使用する場合は、販売店から製品チェックを受けてください。









JP

＜お車での移動（その２）＞

１、安全にご使用頂く為に：

＊　４点式ストラップタイプ固定システムを取付けてください。（手順書参照）

＊　（図Ｂ）が付いた取付金具（図Ａ）を２個、フレーム後部に取付けてください。

＊　（図Ｂ）が付いた取付金具（図Ｃ）を２個、フレーム前部に取付けてください。

＊　Cougar を安全に乗せてください。取付金具（図Ａ）、（図Ｃ）にはフック又はストラップを通してご使用ください。

⚠ ISO 規格１０５４２－２認証の４点式ストラップタイプ固定システムをご使用ください。

２、安全にご使用頂く為に：

＊　（図Ｄ）のように３点式ベルトをご使用ください。

＊　３点式ベルトの角度は（図Ｅ）の角度でご使用ください。

＊　ベルトはご利用者の快適性を損なわない程度に、できるだけしっかり調節してください。また、ご使用中にベルトがねじれないようにしてください。

＊　座面角は９０°にし、背もたれは後方に３°倒した角度をお薦め致します。

⚠ ３点式ベルトは、サイドレールの内側に取付けてください。（図Ｆ）を参照してください。

⚠ ISO 規格１０５４２－１認証の３点式ベルトをご使用ください。

３、移動

＊　移動する前には全てのアクセサリーを車椅子から外してください。

＊　ご利用者を前向きに座らせてください。

＊　お車での移動の際、耐荷重は最大７５kg です。

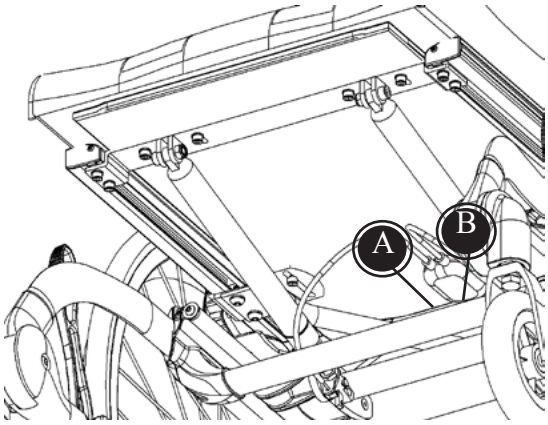
⚠ 車椅子上でご利用者が動かれる場合は、推奨された安全ゾーン（図Ｇ）を確保してください。

JP

＜製品識別について＞

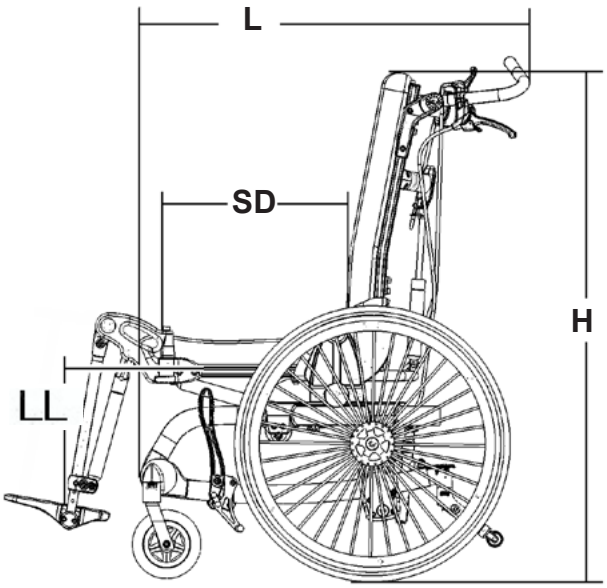
A）シリアル番号：
シート下の前方のクロスバーに貼付されておりますラベルをご覧ください。

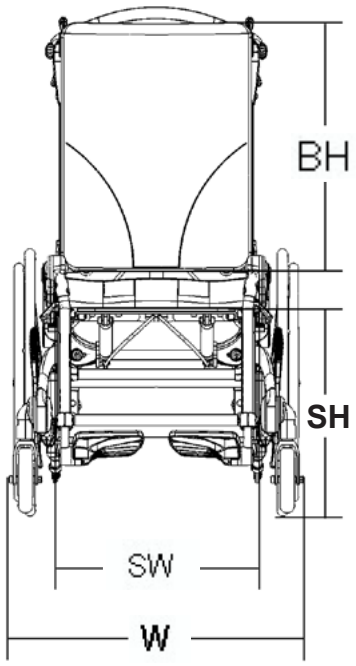
B）製造者：
シート下の後方のクロスバーに貼付されておりますラベルをご覧ください。



A

B





JP ＜寸法表＞

	サイズ１	サイズ２	サイズ３	サイズ４
全幅（W）22”車輪ﾄﾞﾗﾑﾌﾞﾚｰｷ	57cm	62cm	67cm	72cm
全高さ（H）（背もたれまで）	96cm	99cm	108cm	110cm
全長（L）(ﾚｯｸﾞﾚｽﾄを除く)	78cm	78cm	83cm	83cm
座面幅（SW）	35cm	40cm	45cm	50cm
座面奥行き（SD）	35－45cm	37－47cm	43－53cm	49－59cm
座面までの高さ（SH）	46－53cm	46－53cm	46－53cm	46－53cm
背もたれ高さ（BH）	45cm	50cm	60cm	60cm
ﾚｯｸﾞﾚｽﾄ　ｴﾚﾍﾞｰﾃｨﾝｸﾞ式での膝下長さ（LL）	28 cm－46	28 cm－46	28 cm－46	28 cm－46
ﾚｯｸﾞﾚｽﾄ　固定式ﾚｯｸﾞﾚｽﾄの膝下長さ（LL）	24 cm－42	24 cm－42	24 cm－42	24 cm－42

レッグレストを外して折り畳んだ状態

	サイズ１	サイズ２	サイズ３	サイズ４
全幅　22”車輪とﾄﾗﾑﾌﾞﾚｰｷ	57cm	62cm	67cm	72cm
全高	66cm	66cm	66cm	66cm
全長(ﾚｯｸﾞﾚｽﾄを除く)	78cm	78cm	83cm	83cm
回転半径	88 cm	94 cm	97 cm	100 cm
重量（ｽﾘﾝｸﾞ式で、ﾚｯｸﾞﾚｽﾄ除く）	25kg	26kg	27kg	28kg
耐荷重	75kg	75kg	100kg	120kg

角度：ティルト　45°　背もたれ　35°　レッグレスト　90°

JP

上記寸法表は次の設定における寸法です。
標準的な車輪位置で 22”の後輪と 6”前輪の組合せ。
座面：水平位置　　背もたれ：垂直位置に。
レッグレストとクッションは種類が豊富にありますので、重量表記はそれらを含んでおりません。
異なるセッティングでは、測定値が変わることがあります。

JP

＜製造者＞
R82　A／S
Parallelvej , 3 , 8751 , Gedved , Denmark
＜お手入れと修理について＞
カバー
カバーは、難燃ポリエステルでできています。カバーはクッションから簡単に外すことができ、40℃の温水で洗濯機で洗う事ができます。定期的に掃除機で汚れ・ほこり等を落とし、また、ブラッシングすると、布の色持ちが良くなります。

JP

車輪

タイヤ：少なくとも月に一度は空気圧（推奨：５５ＰＳＩ／３．８ｂａｒ／３８０ｋＰａ）と溝をチェックして下さい。

車輪車軸：車軸に泥が付着した場合は、しっかりと汚れを落としてください。

ボールベアリング：ボールベアリングは、メンテナンスの必要はありません。

ハンドリム：ハンドリムが損傷しているような状態であれば、お取替えください。

ブレーキ

ブレーキの機能は、タイヤの空気圧に大きく影響されます。土が固まってついていたりすると、ブレーキに悪影響を及ぼすことがあります。ブレーキは、月に一度少なくともチェックして下さい。

フレーム

定期的に、全てのネジを締めてください（特に、各種調節を行った際は）。また、快適に永くお使い頂く為に、車椅子をきれいにしておいてください。背もたれ角度調節用の穴をきれいにしておくことは、非常に重要です。車用または食器用洗剤で椅子を洗ってください。汚れが特にひどい場合は、油性の洗剤が効果的です。

点検

定期的に全てのネジを締めることは重要です。幅の調節をした時は、背もたれと座面のネジは必ずチェックしてください。少なくとも月に一度、アクセサリーを固定する全てのネジをチェックしてください。

全てのレールの端にエンドキャップがついていることを確認してください。

ひび割れまたはフレーム、PVC（プラスティック）部品、その他に傷がないか常にご注意ください。

修理

ご使用の際何か問題、不安をお感じになられたら、ご使用を止め、お買い上げ頂きました販売店にご相談ください。調整または修理が必要の際は、R82 社純正部品をご使用ください。アクセサリーまたは部品は故障した部分のみを R82 社に送って頂いて修理することができます。基本的な部品に関する問題がある場合は、椅子全部を修理のために R82 社に送って下さい。R82 社は、純正でない部品を使用した場合や、指定外の業者の修理に対する損害または怪我に対して責任をおいかねます。

JP ＜お困りのときは＞

問　題：車椅子が、まっすぐ進まない。
解決法：タイヤに空気を補充してください。
フロントフォークアタッチメント角度をチェックしてください。
フロントフォークアタッチメントが同じ高さであることを確認してください。
体重が均一にかかっていることを確認して下さい。
左右のどちらか一方に強く力がかかっていないか、ご確認ください。
タイヤに破損等ないかチェックしてください。

問　題: 車椅子操作が重く感じる。
解決法: タイヤに空気を補充してください。
キャスターの汚れを取ってください。
キャスターに重みがかかりすぎている場合、重心を調節してください。
ブレーキがかかっていないか、確認してください。
何かが車輪についている場合は、取除いてください。

問　題: 車椅子のとり回しが悪い。
解決法: タイヤに空気を補充してください。
フロントフォークアタッチメントの角度を調節してください。
キャスターの車軸の汚れを取って下さい。
キャスターに重みがかかりすぎている場合、重心を調節してください。

問　題: ブレーキが効かない。
解決法: タイヤに空気を補充してください。
ブレーキレバーとタイヤの間の距離を調節してください。
ブレーキレバーが磨耗している場合交換してください。
ブレーキワイヤーの張りを調節してください。
ブレーキワイヤーが、曲がっていないか確認してください。
ドラムブレーキのハブが汚れていないか確認してください。

問　題: 後輪が外れる
解決法: 車軸ワッシャーが適切な位置にあるかどうか確認してください。
車軸の長さを調節してください。

問　題: 後輪の取外しがやりづらい
解決法: クイックリリースの汚れをとり、油をさしてください。
車軸の長さを調節してください。

JP

問　題: キャスターがぐらつく
解決法: フロントフォークが、きちんと締まっているか確認してください。
左右のフロントフォークアタッチメントが同じ高さで取付けられるかを確認してください。
フロントフォークアタッチメントの角度を調節してください。
キャスターに重みがかかりすぎている場合、重心を調節してください。

問　題: 車椅子がスムースに動かない。
解決法: タイヤに空気を補充してください。
全てのネジ、ナットとボルトがきちんと締まっている事を確認してください。

問　題: 背もたれの角度調節機構が、所定の位置で“カチッ”と音が鳴らない。
解決法: 背もたれ部のガスダンパーを解除してください。
背もたれ部のストラップを引いて、きちんとガスダンパーを置いてください。
ロック機構がきちんと音をたてることを確認してください。

問　題: 背もたれと座面がたわんでいる。
解決法: 背もたれのクロスバーが水平なことを確認してください。

問　題: 重心位置調節（シートリクライニング）機能が、滑らかに動かない。
解決法: ご使用を止め、お買い上げ頂きました販売店にご連絡ください。

＊　誤った調節やご使用方法により、上記の問題が発生する場合があります。